

兵庫県教育委員会（所在地：兵庫県）

事業名

「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアム

事業の趣旨・目的

- ・障害者の生涯学習を支援するため、関係部署、機関、団体等が互いに補完し合いながら活動を一体的に推進することをめざす。
- ・学習プログラムの実践研究を行い、支援モデルを構築する。
- ・障害者の学びの場を拡大し、継続的な取組を行う。
- ・学びのニーズに対応するためのコーディネーター等の人材育成をめざす。

事業内容

- 「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアムの開催（年3回）
- 調査・実践研究
 - ・障害のある人の生涯学習に関するアンケート調査の実施
 - ・身体障害者社会学級（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由者）の開設
 - ・神戸大学における学ぶ楽しみ発見プログラム（知的障害者）の実施
 - ・県内における「学びの場」についての調査（一覧作成、検索アプリ開発）
- 人材の発掘と育成
 - ・支援経験に応じた研修の実施（年2回）
- 普及・啓発
 - ・関係団体・支援者・障害のある人等が参加するコンファレンスの実施（メイン会場と9つのサテライト会場をオンラインでつないで実施）
 - ・支援者向けリーフレットの作成

事業実施体制・連携先

連携コンソーシアムの構成員

県視覚障害者福祉協会会長、県聴覚障害者協会理事長、身体障害者社会学級関係者、県公民館連合会長、県立特別支援学校長、県立特別支援学校PTA連合協議会長、障害福祉サービス等事業所代表、手をつなぐ育成会代表、大学付属特別支援学校副校長、市教育委員会事務局特別支援教育課長、市青年社会学級担当課長、県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課長、県教育委員会事務局特別支援教育課長、大学教授

研究の成果と課題

【成果】

- 障害のある人の生涯学習に関するアンケート調査を実施し、現状を明らかにするとともに、分析を行った。（回答数811件）
- 学びの場を継続調査し、検索の利便性を高めるためにアプリを開発した。
- コンファレンスでは、実践の好事例の発信、協議等を通じて、関係者の意識高揚を図るとともに、支援の輪を広げることができた。（参加者161名）
- 支援の参考となる情報を掲載したリーフレットを発行・配布した。

【課題】

- 調査結果に基づいた障害者の生涯学習を支援するための具体的方策の協議及び実施
- 県内における推進市町等との連携
- 学びの場や関係者の連携におけるコーディネーターの効果的な役割の検討



コンソーシアムの様子



コンファレンス
メイン会場の様子



話題のスポーツにチャレンジ
青い鳥学級（聴覚障害者）

その他研究の詳細など

【啓発リーフレット】

『学びたい思い。
ともに学べる共生
社会をめざして』



【実践報告書】

『神戸大学・学ぶ楽しみ発見プログラム』

